

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



深山つつじ
 写真提供：鈴木舜光君

第1669回



2005-2006年度 RIテーマ
超私の奉仕
 カール・ヴァルヘルム・ステンハマー

<ソング> われら日本のロータリアン
 <ソングリーダー>成瀬 弘明君

会長挨拶 代読 柳原 寿男君

本日は県法人会
 連合会の総会前の
 総務委員会が静岡
 で11時よりある
 為に出席できず申
 し訳ありません。



先週の例会時の会長挨拶で話しておこうと思っ
 たのですが、長くなるのでと思いましたが、お話し
 したいと思います。それはロータリーの友5月号
 にステンハマーRI会長のメッセージ「協力がキ
 ーワード」と云う文章が一頁に載っております。

その中の最初の方にロータリーには偉大な2つ
 の資産があると書かれています。ひとつは世界で
 120万を超えるロータリアンのネットワーク
 ですが、もうひとつは私も意外に忘れていた事だ
 ったが、「ロータリーの歯車の徽章」でした。

今、ビジネスの世界では巨大企業同志の合併や
 買収が盛んに行われています。それらは工場や従
 業員が欲しいのではなく、世界によく知られたブ
 ランド、つまりトレードマークと同じ、いやそれ
 以上に高潔なもので、決して売り物であってはな
 らないものです。と云うような事が書かれており
 ます。読んでみると誇りが湧いて来ます。

出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
25 / 41 60.98%	28 / 41 68.29%

- (1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 ○飯塚君 ○岩田君 ○鈴木廣君 ○小宮君
 ○増田君 ○宮川君 ○村松徳君 村松英君
 浅川君 板倉君 桜井富君 鈴木晶君 鈴木舜君
 仲田晃君 村松宏君 望月志君

- (2) メイクアップ者
 村松 宏一君(静岡中央) 杉山 静一君(静岡中央)

スマイルBOX 後藤 功君

●息子の考俊が、5月25日(明日)結婚をする事
 となりました。本来ならば、皆様にも式にご出席頂
 き親しくご厚誼を賜る所ですが、なにぶん遠方で
 の挙式の為、ご案内は遠慮させて頂き親族だけの
 挙式となりました。今後は私達同様、息子夫婦に
 も格別のご厚情をお願い申し上げます。

石垣 善康君

スマイル累計額 681,680円

委員会報告

インターアクト委員会

次年度委員長 望月俊昭君

『次年度インターアクト委員長会議報告』

1. 開催日時 平成18年5月21日(日)
 13:30 ~ 15:00
2. 開催場所 甲府市丸の内「ホテル 談露館」
3. インターアクトクラブ年鑑の作成について
4. 海外研修の概要説明
 - ・ 行き先 オーストラリア・ケアンズの農場
 - ・ 日程 18年7月22日(土)
 ~ 26日(水)の5日間

5. 地区インターアクト年次大会

- ・ ホスト校 日本航空高等学校（甲斐市）
- ・ 日時 18年7月25日（火）～26日（水）
- ・ スポンサーRC 韮崎ロータリークラブ

■ テーブルメイトE

『会社法』

池ノ谷 敏正君



新しい法律「会社法」が平成18年5月1日施行になった。この会社法成立の経緯をはじめ法の趣旨を解説した。続いて、現在の有限会社はどうなるのか、その際どの様な手続きが必要なのか。同様に現在の株式会社は何か手続きをしなければならぬのか等々、具体的例示をもって説明し、会社経営されている会員の方々の参考として頂いた。

『医療制度改革から見た日本の変化』

酒向 謙次君



今回の話は、医系参議院議員の話からテーマの紹介をしたいと思います。以前の日本の政策決定は、ボトムアップ・調整型の政策決定であったが、小泉内閣になってからは、トップダウン型に変わった。今回の医療制度改革法案をみても分かるように経済財政諮問会議と内閣と調整したものが、厚労省で法案にされ自民党の調整に掛け閣議決定されたものが、国会に提出され衆議院を通過し、参議院に送られたという、トップダウンであった。

過去のボトムアップだと医療関係団体と有力議員と厚労省との調整されたものが、自民党で再度調整され国会に提出され今回のような、診療報酬がマイナス改訂には、なりえなかった。トップダウンの意思決定が今回日本の国会に反映されたのは、社会、会社においても広く浸透されてきた結果かもしれない。「万機公論に決すべし」の民主主

義に日本の変化が読み取れる事象である。トップダウンは、スピードがありシガラミを切るには良いが、失敗を犯す確立も高いので、失敗のないようセーフティネットを充実させる必要があるだろう。会社法改正など大きな変化は、日本社会にグローバル化の対応を求めるものであり、今後の日本社会は、自己責任、自立、自律を益々求められる社会になっていく。将来には、地方分権は道州制の議論になっていくのは、確実である。日本の社会は、大人への成長を求められ、自立できない国民は不安神経症になってしまう恐れがあり、社会現象化しなければいけないが・・・。

『皆で考えよう』

老後の余生を！！』

山田 昭雄君



「世界一の長寿国日本」4人に1人が60才以上の高齢層だと言われています。いろいろな集いや会合に出席しますと、出席者の7割が60才以上の高齢者であります。

私も同じ高齢者の一人です。60才の頃はまだまだと思って居ましたが、気が付いたら80才の足音がすぐ近くに來ています。

私も最近老後の余生をどう過ごし、どう生きるべきかを考える様に成りました。数年前までは他人事のように思っていたのに・・・。去り行く1年の早いこと「1才という才」がずっしりと重く身体に伝える程に年をとる事が恐ろしく感じます。この心境は私だけでありましょうか。決してそうではなく皆さんも必ず思っているに違いありません。私も勿論ではありますが、最近「老化現象」に悩まされている一人でございます。物忘れが進みはじめ、身体の動きが年々鈍くなり少しの労働すら足腰に疲れと痛みを感じ始めます。1番悪い現象は「横着」になることです。細かい仕事や時間のかかる事には持続性がなくなり物事にねばりが失せて行く事です。そして年令と共に次第に家に引きこもる事が多く成り世間から忘れ去られて行く事です。こうなってはもう終わり！！

私は幸いにもロータリークラブの一員であった事を今一番しあわせだと思うようになっております。週に1度でも多くの友人と会える事これが今言われています「自然体の医学療法」だと思われまます。だからロータリークラブは私にとっては最高の大切な「活性化剤」と言っても過言ではありません。

私は最近深く感じている事は、「老化現象退散三つの要素」と考えました。第一は「友人を作る運動」ロータリー会員増強だと思っております。

老年になるとだんだんと友達が減ってきます。此の世を去る者、病の床に伏せるもの、高齢者特有のひきこもり、其の他いろいろな原因に依って、あれ程あった友人もひとり減り、ふたり減りして話し相手も少なくなる事です。

これではいけません。私が「幸せだ」と言いますのはこの「ロータリークラブの皆さん」が良き友であり良き先輩であってこの付き合いはいつまでも健康である限り大切にしておく事を強く感じて居ります。私共が作り出した藤枝ロータリークラブに出席しお互いに「話す・語る・聞く・感じる・思う」これらはすべてリズムであってこれらをバランスよく働かせる事が即ち脳の活性化となり、老人特有の健忘症・認知症等を少しでも遅らせたり軟げたりする事が出来る事と思っております。

第二は「趣味によって若さを作る」若さとは化粧をして、きれいな服を着てという事ではなく、「心の若さ」が大切であります。心が若ければ、顔も身体も生活も自然と若くなるのではないかと思います。誰も若い時代がありました。この若い時代の頃を忘れず、今一度呼び戻す運動こそが大切なように思います。それは「歌」だと思っております。戦後悲惨な姿の日本を救ったと言われました「リンゴの歌」の事はテレビでも放映されました。歌は心であり心は歌であります。又四分間の人間のドラマであります。歌う事によって心を和やかにし、楽しさを与えてくれます。上手下手そんな事は問題外です。「声を出す事」が心身共に健康活性化出来る事と思っております。私も63才の時、肺気腫を患いましたが友達と歌を唄う事により大変よく成りました。私にとっては歌こそわが生きがいです。みんなで歌を唄う機会をつくって声を出し健

康で有りたいものです。又カメラも自然を相手に挑戦するのも若さの維持となると思います。

第三は奉仕活動への参加であります。

年と共にやる仕事もなくなり高齢者はなんとなく片隅へ追いやられてしまうような毎日となり漠然と一日を過ごすことが多くなるものです。ゲートボール、グランドゴルフ、この遊びも結構ですが、他人の喜ぶ奉仕活動に協力する積極性を持つことも必要な事だと思っております。

要は如何に老後を過ごしたら良いか、声を出し、手足を動かして心で感動し頭で考え、常に互いに励まし合って生きて行く過ごし方、他人事と思わずお互いにそれを実践して行こうとする心意気が必要だと思っております。

(担当 / 岩崎)